

情報基盤機構の現況及び特徴

1. 現況

(1) 実施組織名:情報基盤機構

(2) 所在地:

(ア) 静岡オフィス: 静岡県静岡市駿河区大谷 836

(イ) 浜松オフィス: 静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

(3) 実施組織の構成

情報戦略委員会、情報基盤センター

(4) 情報戦略委員会の構成(平成 30 年 5 月 1 日現在)

委員(計13名)

(5) 情報基盤センターの構成(平成 30 年 5 月 1 日現在)

教職員	計16名
センター長(専任教員:教授)	1 名
副センター長(専任教員:准教授)	1 名
技術職員	6 名
パート事務職員	6 名
パート技術職員	2 名

2. 特徴

「情報基盤機構」(以下「機構」という)は、平成 21 年に、本学の全学情報基盤の一元的推進及び管理を行い、教育・研究活動、学生生活及び管理業務を支援する全学情報基盤システムに関し戦略的に企画、立案し、推進することを目的とし設置され、全学委員会である情報戦略委員会では、機構の業務に関する重要な事項の審議を行っている。

「情報基盤センター」(以下「センター」という)は、平成21年に、その前身である「総合情報処理センター」の改組によって誕生した。これにより、当センターは、それまでの共同利用施設から、本学の情報戦略の推進を担う重要組織に位置づけられた。創設から平成 31 年現在までの歴史を述べる。

静岡大学では昭和 39 年に最初の共同利用計算機が設置され、研究・教育や入試事務等に利用されてきた。その後、学内の情報処理量の増大に対処するため、平成 2年に学内共同利用施設としての「情報処理センター」を設置した。その際、キャンパス内に 100Mbps/10Mbps

のイーサネット網が整備され、人員においては、助教授 1名、技官2名のセンター専任の職員を増員した。学内のネットワークは平成5年度の補正予算により飛躍的に拡充強化された。以来、順調な管理運営が行われてきたが、この間に情報技術の急速な発展に伴い、情報処理センターに求められる役割、対象範囲は急激に拡大してきた。このような時勢の変化に対応するため、平成 12年に「総合情報処理センター」、平成 21年に「情報基盤センター」へと改組・改名を行いながら、本学情報基盤の機能拡充を図ってきた。職員においても、平成 12年に技官1名、平成 24年に技術職員1名を増員し、平成 30年現在に至っている。平成 30年度までの最近の 10年間の主要な取り組みのとして以下の6項目をまとめる。

(1) ISMS 認証継続取得(平成 20~30 年度): ISMS の高度化活動は平成 13 年に開始された。当時の国際標準であった BS7799 の取得を目指し、問題点の抽出、是正策の実装、ドキュメントの整備などを積極的に推進した結果、平成 15 年度に国際的にも早い段階で BS7799 の

取得を達成した。以後、平成 19 年度には国際認証である ISO27001 の切り替えを完了し、16 年目の運用継続を行っている。本取組みは、他大学の情報系センターへも波及し、現在、ISMS 認証取得および認証取組みのための活動が多くの大学で行われている。

(2) 学内 LAN 整備拡張(平成 25 年度):平成 25 年度の情報基盤整備事業では、それまで有線通信網主体であったものに無線通信網(Wi-Fi)を増強した。これにより教職員、学生はキャンパスの広い範囲で容易に学内 LAN に接続できるようになった。オンライン教育拡大の大きな基盤進化であった。

(3) eduroam 情報基盤整備(平成 29 年度):平成 29 年度の情報基盤整備事業では、国際的な教育研究ローミングネットワークへの加入、およびそれへの容易な接続情報基盤を確立した。静大 ID により他大学、あるいは海外の大学、公共施設で Wi-Fi を利用出来るようになった。また高速光回線を 11 本、通信容量 11Gbps を増強し、本学の通信可能容量を約 6 倍に拡大した。

(4) ITSMS 認証取得継続(平成 24 年度～30 年度):クラウド化の推進に伴い、多様化と高度化していく IT サービスの利用者満足度の向上のため平成 24 年度、2 つ目の国際標準規格である ITSMS (ISO20000-1)を全国の学

術・教育機関に先駆けて認証取得した。28 項目に亘る IT サービスメニューを整理し、サービスレベル合意書 (SLA)を学内委員会と締結した。平成 31 年現在に至るまで、ISMS・ITSMS の統合マネジメントシステムによる恒常的な業務改善活動を行っている。

(5) 静大 ID による統合認証(平成 24～30 年度):複数の IT サービスをワンストップで利活用するための認証統合は近年益々その重要性を増している。本学では、平成 24 年度に新しい認証情報体系である「静大 ID」を新規導入し、シングルサインオン (SSO) による学内情報システムの統合一元化を図った。またメールアドレスについては 4 年の移行期間を経て、平成 29 年度にドメインの統合を実現した。

(6) 静岡大学テレビジョンによる動画情報発信(平成 24～30 年度):大学の新しい広報手段として動画発信サイト「静岡大学テレビジョン」を開設した。以来、平成 31 年 2 月 25 日時点で公開動画数は 2,107 本、番組総アクセス数は 3,364,543 回に達した。これは我が国の大学動画発信サイトの実績としては No.1 である。今後は更に制作人員、範囲を拡大し、年間 500 本以上の動画を製作し公開していく予定である。当センターは、今後も新しい大学の情報基盤の試みを発信できる体質に努めていく。